

環境 ENVIRONMENT 通信

問い合わせ先 環境衛生課（合志庁舎） ☎248-1202

燃やすごみ

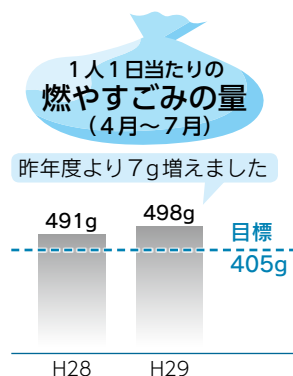


資源物A

資源物B

ごみの分別を徹底しましょう
最近、燃やすごみの中に空き缶や鍋、金属製ハンガーなど、鉄・金属類が混入している事例が多発しています。燃やすごみに鉄・金属類が混入していると焼却施設の機械の故障につながります。資源物はきちんと分別して種類ごとに分け、市の指定袋に入れて出しましょう。

4月～7月までの1人1日当たりの燃やすごみの量は、昨年度同時期と比べて7g増えました。



燃やすごみの量を減らしましょう

浄化槽を利用している皆さんへ
浄化槽は、トイレ・台所・洗濯機などから流れる生活排水を、微生物の働きなどできれいな水にして放流するための処理設備です。きれいな川や海を守るため、浄化槽の保守点検・清掃・法定検査を行ないましょう。
※ただし、市個別排水処理施設条例に基づく合併処理浄化槽は市で行ないます。

保守点検
浄化槽管理者は、浄化槽が十分に機能を発揮し良好な状態を維持しているか、定期的に点検する必要があります。
浄化槽保守点検業者（県登録業者）に保守点検を委託しましょう。

清掃
浄化槽を使用していると汚泥の堆積や浮遊物が発生するため、毎年1回（全ばつ気方式は6カ月ごと）1回汚泥などを除去し機器類の洗浄・清掃する必要があります。

浄化槽の清掃は、市指定の浄化槽清掃業者に依頼してください。

ペットの飼い主の皆さんへ
ペットの飼い主には、その動物が命を終えるまで適切に面倒をみる「終生飼養」の責任が法律で義務付けられています。そこで、飼い主の皆さんは、むやみにペットを増やさないようお願いします。



県登録浄化槽保守点検業者
市浄化槽清掃指定業者
(株)セイブクリーン
☎0120(812)583
☎(284)3355
県浄化槽協会

法定検査
浄化槽を使い始めてから3カ月から8カ月の間に行なう設置状況、水質検査と、毎年1回行なう定期検査を受けることが法律で定められています。



犬や猫は一度の出産で数匹の子どもを産みます。大型犬になると10匹を超えることもあります。適切に飼うことができるか、増える前に考える必要があります。飼えないのであれば新しい里親を探さなければなりません。
増えすぎた望まれない命たちは、適切な飼養がされず、殺処分にもつながることもあります。望まれない命を増やさないためにも、避妊・去勢なども検討していただくようお願いいたします。

「どうする財政？」シリーズ⑤ 市の総合計画と財政計画（H28～H35）

▼問い合わせ先

財政課 財政班（合志庁舎）
☎(248)1667

今回で5回目となった本シリーズ。前回は合併から10年経過した市の人口と財政状況について考えました。

本市は順調に運営できているように見えますが、高齢化と本市特有の子育て世代の急増による保育園や学童クラブの待機児童増加、小中学校のマンモス校化などの課題が生じています。また国の社会保障費に当たる扶助費予算は合併時の2.8倍。暮らしを支える重要な予算ですが、他事業へ投資する余裕が少なくなっているのが実情です。

このような中、平成28年4月に、市は第2期目に当たる総合計画と財政計画を策定。平成35年度までの8年間の計画を定めています。

今回は、総合計画と財政計画について考えていきます。

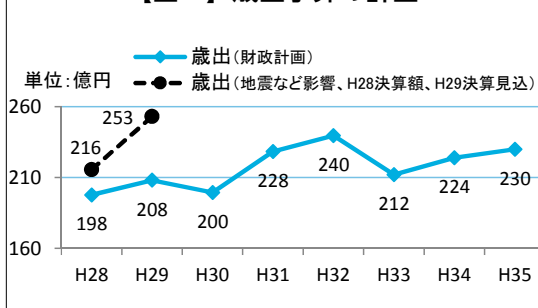
総合計画が掲げるまちづくり

2期目の総合計画では、前回に引き続き、まちづくりの基本理念を「人と自然を大切にしたい協働によるまちづくり」とし、将来都市像を「元気・活力・創造のまち 健康都市こうし」と決めました。市民が安全に、安心して暮らしたいことができるまちを目指しています。

財政計画と熊本地震の影響

図1は総合計画と同時に策定した財政計画の歳出予算です。また、財政計画に盛り込まれている大規模事業を下に記しています。総合計画では、今後も人口が増え続け、平成47年頃の人口68,000人がピークと予測。そのため、今回の財政計画では、人口増加による歳出規模の拡大と主

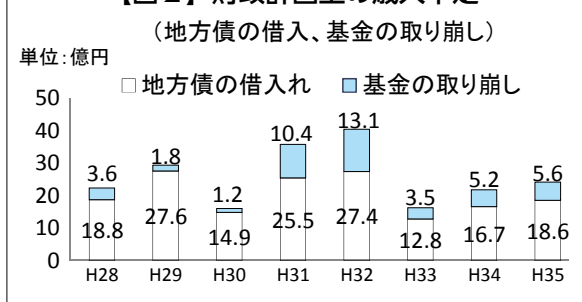
【図1】歳出予算の計画



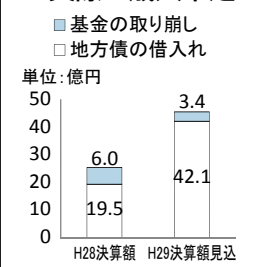
財政計画に盛り込まれている大規模事業

- 市役所合志庁舎増築、西合志庁舎改修事業
- 小中一貫校新設事業
- 野々島公民館建替事業
- 黒石市民センター建替事業
- 合生住宅建替事業
- 御代志地区土地区画整理事業
- 新環境工場建設事業（負担金）
- 北熊本スマートインターチェンジ建設事業（負担金）

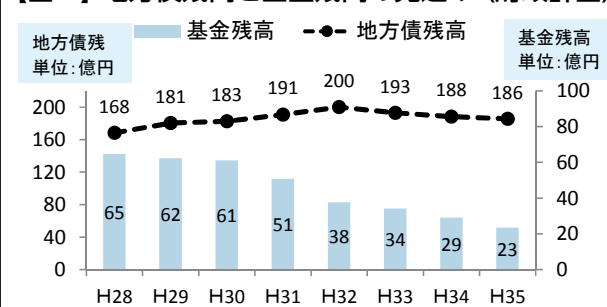
【図2】財政計画上の歳入不足（地方債の借入、基金の取り崩し）



【図3】実際の歳入不足



【図4】地方債残高と基金残高の見込み（財政計画）



地方債と基金残高の見通し
図4は財政計画上の地方債残高と基金残高の見込みです。地震の影響で予定外の地方債が増え、加えて建設事業コストが高騰し、財政計画とおりの財政運営ができない状況になってきました。
最終計画年度の平成35年度の財政調整基金の目標残高を20億円以上としていましたが、この目標額を下回る可能性が出てきましたので、早急に財政計画の見直しが必要となっています。今回は最終回。持続的な財政について考えます。